

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040070

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	[全体計画内容] ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事 業 優 先 度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政 策 事 務 分 類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	沢木地区配水管更新整備事業	見 直 し 年 度		
事業期間	平成25年度～平成26年度	担 当 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	布設整備延長		#N/A	
事業目標	385m	ハート／ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加		関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	<p>沢木地区簡易水道配水管の一部が民地内に入り込んでおり、個人の倉庫下となっていることから、これを解消するため、町道(沢木臨港線)に布設替を行い配水管破裂事故等の未然防止を図るため実施するものです。</p> <p>また、町道高台線には配水管が布設されていないため、各戸の給水管延長が長く、一般管が使用されているため漏水による水圧低下が懸念されることから配水管整備により、漏水の未然防止及び安定給水を図るため実施するものです。</p>	<p>沢木臨港線配水管更新工事</p> <p>VPφ 100mm L= 54m VPφ 75mm L=106m 更新延長 計 L=160m (狩野宅海側～内宮宅横)</p>	<p>沢木高台線配水管整備工事</p> <p>VPφ 50mm L= 225m 整備延長 計 L= 225m (内宮宅横～竹田宅前)</p>			
計 画 事 業 費	事業費(千円)	22,600	9,000	13,600	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	22,600	9,000	13,600		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,873	8,873	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	8,873	8,873			
関 連 事 項	<p>特定財源の名称</p> <p style="text-align: center;">【評価・実績】</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>沢木臨港線配水管更新工事 ・更新延長 計 L=160m</p> <p>※前年度評価結果</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>※前年度評価結果</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>※前年度評価結果</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>※前年度評価結果</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>※前年度評価結果</p>
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	160m	225m		
		年度達成率	99%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	39%	39%	39%	39%
		事業進捗状況	☆☆☆			

事業名 沢木地区配水管更新整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
	評価者 作成者 職氏名	水道係長	江田一夫

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	配水管更新延長。	
【抱える課題やニーズは】	配水管破裂による断水。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	断水の未然防止。	① 更新延長/更新延長実績	目標年度	平成25年度
			目標値	160 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定供給の確保・強化。	②	実績値	160 m
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による配水管更新の実施。	入札により民間業者に発注し、配水管更新を行った。	目標年度	平成25年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生活用水の安定供給確保のための配水管整備は、町が担う必要がある事業であります。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		断水事故の未然防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		入札により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

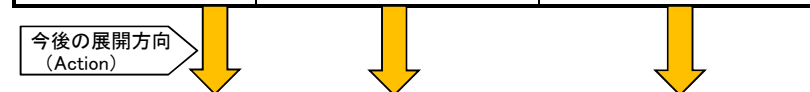
公平	判断の理由		生活用水の安定供給が維持されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
配水管更新により断水事故等の未然防止が図られた。		



継続/現状維持		
水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止